



ビタミンBook

発行: 笠田高等学校図書館

2021.7

いよいよ夏休みも間近です。今号には、夏休み中の図書館の開館日を掲載していますので、利用してください。また、「高校生よみかたりボランティア養成講座」の日程も掲載しています。3日間の講座を予定しています。「よみかたり」に興味のある生徒は是非参加してください。

「高校生よみかたりボランティア養成講座」を開催します。
興味のある生徒は是非参加してください。

夏休み中の図書館開館日



開館日：○のついた日

開館時間：9:00～12:00

7月

日	月	火	水	木	金	土
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21



「高校生よみかたりボランティア」に参加したい生徒はこの養成講座を受講してください。

(講座日程)

- 1、7月29日(木)9:00～11:00
- 2、8月2日(月)9:00～11:00
- 3、8月3日(火)9:00～11:00

(講座内容)

- 1 絵本、紙芝居の選び方
- 2 おはなし会のプログラムを考える
- 3 おはなし会に向けての準備
- 4 おはなし会をさらに楽しくする方法
- 5 ミニおはなし会を実際にやってみる

夏休みに読んでみませんか・・・第2弾

『植村直己・夢の軌跡』

湯川豊(著) [786]

日本人初のエベレスト登頂、^{いぬそり}犬橇による北極圏1万2千キロ走破、北極点単行とグリーンランド縦断。1984年2月12日午後6時50分、植村直己43歳の時、マッキンリー冬期単独登頂に成功。翌日13日午前11時、テレビ朝日チャーター便との交信後、消息を絶った。

『ハタからみると、凧日記』

光浦靖子(著) [778]

ストロングスタイルのブスで芸能界デビューしてからは、挨拶がわりにブスだ、ブスだと言われ、ま、それで笑いもお金も手に入れたのですが、みるみる自信を失くし、自分は底辺の人間だと思ようになってから本当にモテなくなりました。自信をもつことは本当に大切です。日本人特有なのか、自分の意見を言うときに、「みんなも言ってるよ」と付けがちです。自分一人で判断することがとんでもなく苦手なようです。だから、こっちから誘導してやるのも手ですよ。私は○○です、と。

とにかく自信は生きてゆく上で、非常に大切なんですね。というわけで、この日記を読んで、なんだこの人もたいしたことねーな、自分のほうがマシだな、と書いていただけたら。(本文より)





	書名	著者名	出版社	分類番号
1	(岩波ジュニア新書 935) はじめての哲学	藤田正勝	岩波書店	100
2	(岩波ジュニア新書 936) ゲッコ先生と行く沖縄自然探検	盛口満	岩波書店	462.199
3	(岩波新書 1881) 少年法入門	廣瀬健二	岩波書店	327.8
4	(岩波新書 1882) グリーン・ニューデール	明日香壽川	岩波書店	519.1
5	(岩波新書 1883) 東南アジア史 10 講	古田元夫	岩波書店	223
6	(岩波新書 1884) 『失われた時を求めて』への招待	吉川一義	岩波書店	953.7
7	(岩波新書 1885) 源氏物語を読む	高木和子	岩波書店	913.36
8	なるには Books 37 環境専門家になるには	小熊みどり	ペリかん社	519
9	渋沢栄一 人間の礎	童門冬二	集英社文庫	289.1
10	ことりっぷ奈良・飛鳥	ことりっぷ編集部	昭文社	291.65
11	これが「日本の民主主義」!	池上彰	集英社文庫	311.7
12	女たちのポリティクス 台頭する世界の女性政治家たち	ブレイディみかこ	幻冬舎新書	312.8
13	ガールズ・メディア・スタディーズ	田中東子	北樹出版	361.453
14	ババア上等!	地曳いく子/榎村さとる	集英社文庫	589.2
15	泡	松家仁之	集英社	913.6
16	てんげんつう	畠中恵	新潮社文庫	913.6
17	この恋は世界でいちばん美しい雨	宇山圭佑	集英社文庫	913.6
18	宝石商リチャード氏の謎鑑定	辻村七子	集英社オレンジ文庫	913.6
19	アキラとあきら 上・下	池井戸潤	集英社文庫	913.6
20	言えないコトバ	益田ミリ	集英社文庫	914.6
22	ほどほど快適生活百科	群ようこ	集英社文庫	914.6
23	琥珀の夏	辻村深月	文藝春秋	913.6
24	いわいごと	畠中恵	文藝春秋	913.6
25	デミアン	ヘルマン・ヘッセ	新潮社文庫	943.7
26	かお かお ばあ	ミス・ヨシコ (絵)	KADOKAWA	913.6

夏休みに読んでみませんか・・・第3弾

『青の数学』

玉城夕紀 (著) 【913.6】
雪の日に出会った女子高生は
数学オリンピックを制した天才
だった。

『四畳半王国見聞録』

森見登美彦 (著) 【913.6】
「ついに証明した! 俺にはやはり恋
人がいた!」。二年間の悪戦苦闘
の末、数学氏はそう叫んだ。

『博士の愛した数式』

小川洋子 (著) 【913.6】
「ぼくの記憶は80分しかもたない」
博士の背広の袖には、そう書かれた
古びたメモが留められていた。

『フェルマーの最終定理』

サイモン・シン (著) 【412】
17世紀ひとりの数学者が謎に
満ちたコトバを残した。



『容疑者Xの献身』

東野圭吾 (著) 【913】
天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた
高校教師の石神は一人娘と暮らす隣人の靖子に
秘かな想いを寄せていた。

